

松山理事長が鹿児島県議会で講演を行いました

JNTO 松山理事長は、2016年9月14日(水)に鹿児島県議会で開催された全協的勉強会にて、県議会議員、鹿児島県庁観光交流局、議会事務局職員およびマスコミを対象に「観光立国ニッポンの実現に向けた取り組み」と題して講演を行いました。同勉強会では、一般社団法人九州観光推進機構の高橋事業本部長も「熊本地震を受けた今後の九州の観光発展について」と題し、講演をされています。

松山理事長からは、日本のインバウンドの動向、JNTO および政府の取り組みのほか、自身の郷土でもある鹿児島におけるインバウンドの状況や今後の課題と期待について、鹿児島のブランド力の発信、観光における強みや弱み、受け入れ体制の現状や国際会議の開催状況などから提言しました。中でも、数ある観光魅力が存在する鹿児島に対し、捨てる勇気を持って魅力の絞り込みを行い、ターゲットとなる層に対し効果的なプロモーション戦略を策定すること、また DMO の数を増やし、活用することを強調し、参加者から多くの賛同を得ました。

そのほか、聴衆された参加者の関心は、日本へのインバウンドおよびアウトバウンドの交流人口の平準化、日本人の国内旅行の促進、日本におけるメディカルツーリズム、2020年の訪日観光客数4000万人、2030年の6000万人時代を見据えた安心安全の観光施策についてなど、多岐にわたり、鹿児島における観光の受け入れに熱心であることが伺えました。

鹿児島は、2018年の大河ドラマ「西郷どん」や明治維新150年事業を控え、観光地デスティネーションとして、国内外における更なる認知度向上が期待でき、JNTO としてもこうした地方の魅力のプロモーションに務めてまいります。



勉強会の様子



講演をする松山理事長